

(記入者の判断で、学校名は伏せました。)

学校名【B小学校】 記入者【石狩浜男】 作成日【2009年5月】

見つかった課題	<p>・引継ぎの際に予算の校内再配分を行っていないことを聞く。理由は(先生方)のお金の使い方が荒いなどの理由で、再配分をしても意味がないとのことであった。が、いざ赴任してみると「支出の目途が立たない」「必要なものを買ってもらえない」など先生方が様々な不満を持っていることが判明する。人によっては、気体検知管を学級費で買うよう言われた人もいて(最終的には学校で買ってもらったと言う話だが)不満を持っていたようだ。</p>
課題解決に向けた行動の経過	<p>・目安を示すため、また、学校予算をもっと近いものにするためにも校内再配分を行うことにする。幸いに前任者の色がなかったから、前任校でやっていた方法で(丸々自分のやっていた方法で)校内再配分を行うことに決める。</p> <p>①分掌を対象にした要望書を配布 ②全員を対象にした要望書を配布(学級関係・教科関係、一般消耗品、行事、その他を記入)</p> <p>①、②を配布、集約し、前年の使用状況をチェックし校内再配分を算出。</p> <p>職員会議が近辺にないので朝の打ち合わせ時に説明を行う。要望書に記載されていた購入希望の物品は必要と判断したものはすぐに購入した。</p>
行動する上で見えたこと	<p>・(経験上思っていたことではあったが、)機会がなければ人は不満を持ち、機会が多すぎれば同じことをしていても印象が薄まって効果が少なくなる。今回は、欲求不満後に入ったこともあり比較的希望も出て、それに伴った購入も行うこともでき、スムーズに協力・協働を行えたほうだと思う。ただ自分は、基本的には飴と鞭が必要と考える人間でもあり、今回もとりあえず購入はしたが、問題点として印刷関係の消耗品が多く、無計画に使っているようにも見えたので、今回の購入は印刷費の節約が前提であることを伝える。今後どうなっていくかは推移を見守ることになる。</p>
とりくみの結果なにがどうなったか	<p>・具体的にどうなったかという結果は1年過ぎてみないとわからないと思うが、とりあえず出せば聞いてもらえるという意識づけにはなったと思う。今後も発信し続けて行けば協力・協働態勢を少しづつ確立していけるのではないかと思う。</p> <p>・現在、教材備品の希望調査も行っているが①、②の要望書に記載された希望の中で、備品にあたるものはあらかじめピックアップして提示している。書かれているものには迅速に丁寧に対処というようになればと考えている。</p>
とりくみの感想など	<p>・うまく行くかいかないかはまだ見えてこないが、とりあえず様々な情報を発信することにした。数年前に前任地でレポートに書いたことがあるが「見せる」「答える」「魅せる」ということを頭において、良質な関係性を築いていけたらと考えている。</p>